

相ノ木っ子だより

令和元年度
学校だより
5月号
上市町立相ノ木小学校

一冊の本との出会いから

「もうすぐパワーアップタイムが始まります。みなさん、席に着きましょう」

朝の放送が流れ、子供たちはおもむろに本を取り出し、読み始めます。校内が静まり返る中、子供たちは読書に集中しています。

昨年度の学校評価アンケートで、教員、児童、保護者いずれも達成目標に大きく届かなかったのが、「子供は読書が好きである」でした。確かに、子供たちの図書室利用回数はあまり多くなく、読書に意欲的な子供たちとそうでない子供たちの差は大きいのです。そこで今年度、校時の始まりをパワーアップタイムとし、火曜日から木曜日まで連続した読書タイムを設定しました。自ら進んで読書する習慣が身に付くよう、全校一斉に心を落ち着ける時間になるようにし、少しでも子供たちが、本に親しみ、読書に熱中していくことを願うからです。

読書は、子供たちにとってとても大切な活動です。読書力が付けば、学力は向上します。また、想像力等、多様な力を養うことができます。ポップの帝王として、数々の名曲、パフォーマンスを世に送り出したマイケル・ジャクソンが、読書について次のように語っています。

僕は読書が大好きだ。

もっと多くの人に本を読むようアドバイスしたい。

本の中には、まったく新しい世界が広がっているんだよ。

旅行に行く余裕がなくても、本を読めば心の中で旅することができる。

本の世界では、何でも見たいものを見て、どこでも行きたいところに行ける。



その通りだと思います。読書によって、心の中で様々な経験をすることができます。そして、実体験や視覚的な体験よりもはるかに想像を広げることができ、頭の中で自分独自の世界を展開することができます。また、サッカー日本代表のキャプテンを務めた長谷部誠選手は、著書「心を整える」で、次のように言っています。

試合に負けて気分が沈んでいる時も、逆に試合に勝って高揚している時も本を読むと心が落ち着く
負けた後なら、乱れた気持ちを整えてくれる

勝った後には、浮ついた気持ちを抑制してくれる

読書は自分の考えを進化させてくれる

激しいスポーツであるサッカー選手にとっても、読書は心の安定、考えの進化をもたらす貴重なものなのです。とは言え、紙からデータへと大きな変化を遂げている昨今、日本人の活字離れは進んでいます。本を手に取り、パラパラとページをめくる行為は、時代遅れの感があり、本嫌いの子を読書好きにすることは容易なことではありません。唯一の方法は、その子にとっての良書に出会うことだと思います。

わたし自身、小さな頃から運動好きで、じっと本を読むということは得意ではありませんでした。ですが、文章に引き込まれるような本との出会いが自分を変えてくれました。職業柄、年齢を重ねるごとに教育書が多くなってきましたが、若い頃は、推理小説やホラー小説をよく読んでいました。今でも文章力の凄さで印象に残っているのが、みなさんもご存じであろう、鈴木光司氏の「リング」です。夕方に読み始めたのですが、ページをめくるたびに怖さが増し、いつの間にか読み終え、朝を迎えていました。後にビデオで観ましたが、文章による想像の世界の方がはるかに怖いものであり、もう一度冒頭から読んでみたいという衝動にかられたことを覚えています。そんな感動や思いをしたくて、また別の本を手取るのではないのでしょうか。

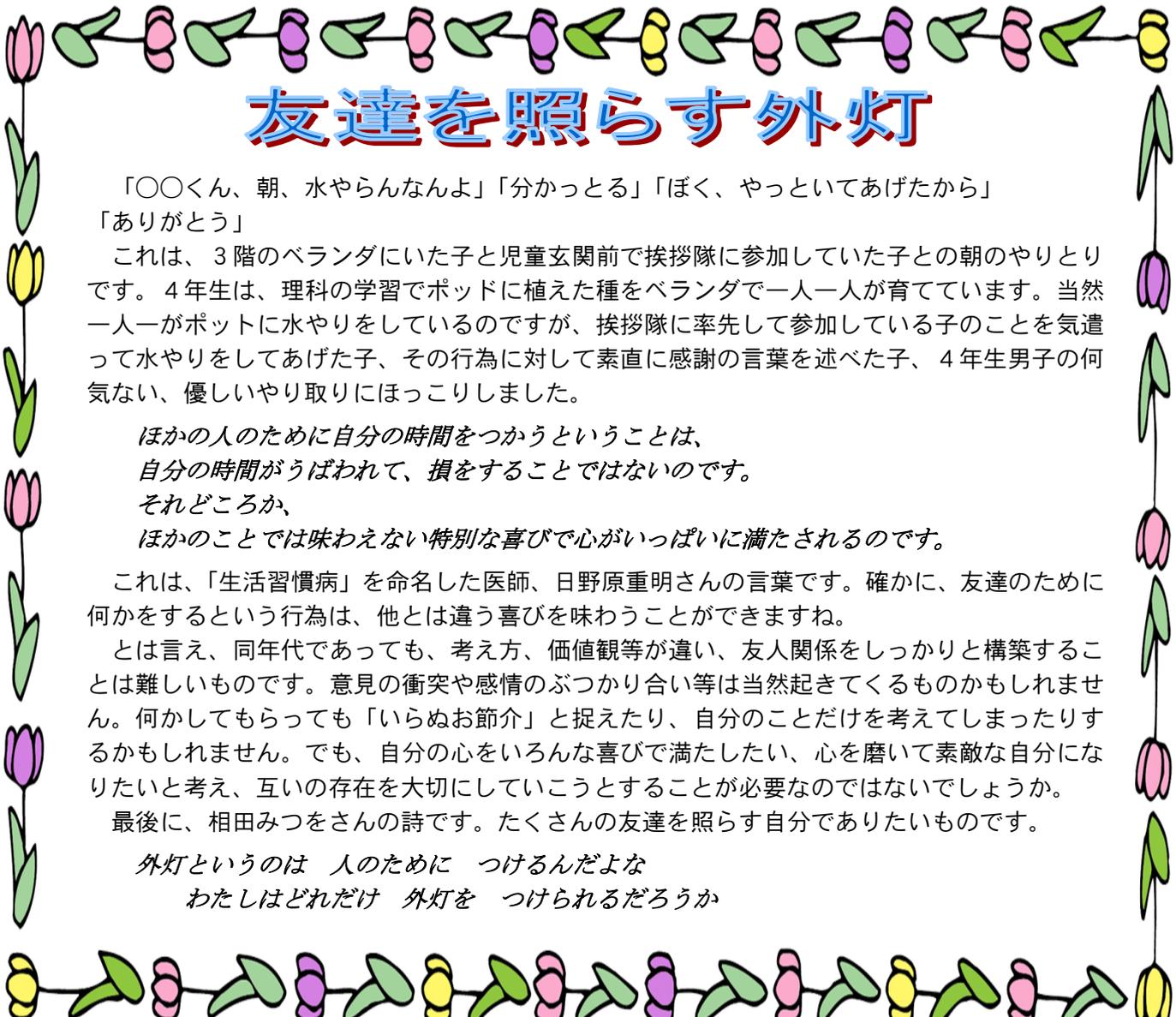
アイルランドの宗教者、ジョセフ・マーフィーは、次のように言っています。

読書の時間を大切にしてください

一冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあります



相ノ木っ子のみんな、あなたはどんな本と出会いたいですか？読んでみないと見つかりませんよ。



友達を照らす外灯

「〇〇くん、朝、水やらんなんよ」「分かつとる」「ぼく、やっといてあげたから」「ありがとう」

これは、3階のベランダにいた子と児童玄関前で挨拶隊に参加していた子との朝のやりとりです。4年生は、理科の学習でポッドに植えた種をベランダで一人一人が育てています。当然一人一人がポットに水やりをしているのですが、挨拶隊に率先して参加している子のことを気遣って水やりをしてあげた子、その行為に対して素直に感謝の言葉を述べた子、4年生男子の何気ない、優しいやり取りにほっこりしました。

ほかの人のために自分の時間をつかうということは、
自分の時間がうばわれて、損をすることではないのです。

それどころか、

ほかのことでは味わえない特別な喜びで心がいっぱい満たされるのです。

これは、「生活習慣病」を命名した医師、日野原重明さんの言葉です。確かに、友達のために何かをするという行為は、他とは違う喜びを味わうことができますね。

とは言え、同年代であっても、考え方、価値観等が違い、友人関係をしっかりと構築することは難しいものです。意見の衝突や感情のぶつかり合い等は当然起きてくるものかもしれません。何かしてもらっても「いらぬお節介」と捉えたり、自分のことだけを考えてしまったりするかもしれません。でも、自分の心をいろんな喜びで満たしたい、心を磨いて素敵な自分になりたいと考え、互いの存在を大切にしていこうとすることが必要なのではないのでしょうか。

最後に、相田みつをさんの詩です。たくさんの友達を照らす自分でありたいものです。

外灯というのは 人のために つけるんだよな
わたしはどれだけ 外灯を つけられるだろうか



行事予定(5月中旬～6月中旬)

5月18日(土)	3年親子ふれあい活動(自転車教室)	6月1日(土)	2年親子ふれあい活動(校内リネーリング)
21日(火)	2年ふるさと学習	4日(火)	要請訪問研修会
22日(水)	眼科検診	5日(水)	4年歯みがき教室
23日(木)	避難訓練・BFC結団式・内科検診	11日(火)	耳鼻科検診
24日(金)	1年生歓迎集会・なかよし班結成式	12日(水)	学校訪問研修会
25日(土)	5年親子ふれあい活動(ビーチボール)	14日(金)	学習参観・教養講座・引き渡し訓練
26日(日)	1年親子ふれあい活動(ニュースポーツ)		2年歯みがき教室
28日(火)	6年歯みがき教室		
29日(水)	1年給食試食会		
31日(金)	4年ふるさと学習		

